



2022年4月6日

中国華南にエアバッグの新工場を設立

豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長:小山享)は、自動車市場として成長を続ける中国において、主力製品であるエアバッグとハンドルの生産体制を強化するため、広東省に新たに工場を設立します。

新工場は、当社のグループ会社である豊田合成(佛山)汽車部品有限公司(以下、佛山 TGP)の分工場として設立し、2023年夏頃から生産を開始予定です。中国での安全規制強化により需要が伸びるエアバッグの販売を拡大すると共に、華南における自動車生産の拡大に対応します。

なお当工場は、効率的なモノづくりを追求し、環境に配慮した「スマート工場」として設立します。IoTやAIの活用により生産から納入までの工程の状況をリアルタイムに把握、またカーボンニュートラルの実現に寄与するため、省エネルギーな生産設備や再生可能エネルギーの導入などにより、2030年度までにCO₂排出量を従来の設備と比べ50%以上削減します。

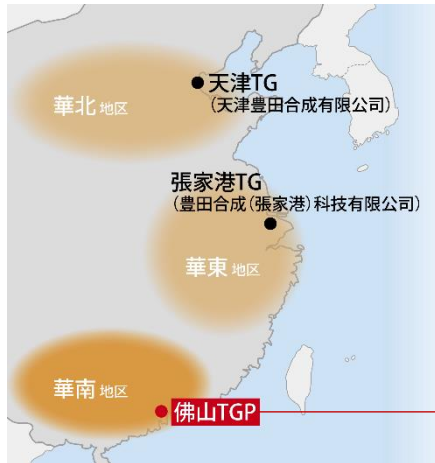
新工場の概要

所在地	広東省 佛山市順徳区
面積	土地 約 54,000 m ²
	建屋 約 43,000 m ²
生産品目	セーフティシステム製品 (エアバッグ・ハンドル・ ポップアップフードアクチュエータ)
生産開始	2023年夏頃(2022年4月着工)
従業員数	約 280名(稼働開始時)
設備	[生産設備] ・協働ロボット ・自動搬送機(AGV) [環境設備] ・太陽光発電パネル

佛山 TGP の概要

社名	豊田合成(佛山)汽車部品有限公司
設立	2004年10月
資本金	1,910万米ドル (増資後)7,052万米ドル
所在地	広東省 佛山市順徳区 大良街道順番公路五沙段3号
従業員数	722名(2022年2月末)

中国におけるセーフティシステム製品の生産拠点



新工場(完成イメージ)